

令和4年度

第1回加賀市地域公共交通会議

第1回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日時 令和4年6月30日（木）  
午前10時～正午  
場所 市民会館第2会議室

令和4年度  
第1回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日時 令和4年6月30日(木)  
午前10時～正午  
場所 市民会館第2会議室

1 開会

それでは定刻になりましたので、令和4年度第1回加賀市地域公共交通会議および第1回加賀市公共交通活性化再生協議会を開催いたします。

本会議委員の任期は2年間となっておりますが今年度は改正の年度ではございませんが、委員ご所属の団体の人事異動等により一部の委員に交代がありました。

本来であれば、お1人ずつご紹介の上、ご挨拶を頂戴したいところではございますが、お時間の関係により、お手元の書面にてご紹介に代えさせていただきます。

はじめに、会議の成立報告を申し上げます。本日の会議の出欠状況につきましては、3名の委員が欠席であります。過半数を超える14名の出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第7条第3項および加賀市公共交通活性化再生協議会規約第7条第3項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

さて、この会議の設定につきましては、地域公共交通会議については、道路運送法、地域公共交通活性化再生協議会については、地域公共交通の活性化および再生に関する法律を第1の根拠としており、会議設置要綱により設けております。

会議の役割といたしましては、バスタクシーなど、本市における地域交通の確保、意義の方策等について、地域の関係者が協議し、合意をするためのものがございます。それでは、本日の進行につきましては、会長に議長をお願いしたいと思います。会長よろしく申し上げます。

**会長**

ありがとうございます。

今回は議事が多いと聞いております。今回委員になられた方もおりますので、前年度の事業計画、および成果を説明いただいて、議題の1と2に入ります。

**事務局**

説明資料の2ページをご覧ください。

今回初めて委員としてご出席の方もいらっしゃいますので、簡単に加賀市の公共交通の体系をご説明申し上げます。路線バスについて、左側、赤枠ですが、「温泉山中線、吉崎線、山代大聖寺線、

温泉大聖寺線」右側緑枠の中「温泉片山津線」です。それから、右下紫枠ですけれども、生活路線として運行されている「キャンバス片山津・橋立循環線、橋立動橋線」がございませぬ。この他、観光周遊路線として、「キャンバス海まわり線、山まわり線、小松空港線」この3路線がございませぬ。

また、左、ピンクの枠で囲んでおります「のりあいタクシー」を加賀市が運行しており、主にバス路線がない地区の方が利用してございませぬ。便数は表の通りですので、またご参照いただければと思ひませぬ。

続きまして3ページです。昨年度の1年間の地域公共交通の利用状況について簡単にご説明いたします。上から、大変申し訳ございませぬが誤入力がありまして、(1)加賀温泉バスと書いてございませぬが、社名が変わりまして、北鉄加賀バスでございませぬ。失礼致しました。

実績ですが、令和2年度、令和3年度という読み上げ方をさせていただきます。令和2年度が温泉山中線で1ヶ月平均、1万6521、片山津線で3127、吉崎線で2313、山代大聖寺線で2255、温泉大聖寺線1127という実績でございませぬ。

今年は1ヶ月平均で、温泉山中線で1万4370、温泉片山津線で2813、吉崎線で2488、山代大聖寺線で2429、温泉大聖寺線で995という形で、全体で2万3095、前年対比91.1%という実績でございませぬ。

続いてキャンバス、片山津・橋立循環線および昨年より運行開始し、動橋線も実績を載せてございませぬが、片山津・橋立循環線については、令和2年度が599、令和3年度が705、117.7%という実績です。昨年公開しました橋立動橋線につきましては、こちらに書いてある通り、まだ全然乗られていないような現状ではございませぬが、1ヶ月で4で、これから急騰していかないといけぬい状況が続いてございませぬ。続きましてのりあいタクシーの利用実績でございませぬ。

エリア1から3までありますが、令和2年度1ヶ月平均で、エリア1、大聖寺の付近が539で、エリア2、片山津を中心とするエリアで145エリア、エリア3これが山中山代を中心とするエリアで427ということで、令和3年度で、エリア1が565エリア2で129、エリア3で519です。前年対比で109.3%という実績でございませぬ。

昨年10月に運行を開始しましたエリア横断便についてはこれも、まだまだ利用が少ない状況でして、1ヶ月平均2ということになってございませぬ。こちらにも普及をすすめていきたいと考えてございませぬ。

4ページをご覧ください。令和3年度加賀市地域交通活性化再生協議会事業報告および歳入予算、歳入歳出決算についてご報告申し上げます。令和3年度事業実施事業の報告といたしましては、4つありまして、バス教室の実施、これは毎年夏に乗車数ということ、小学生を対象に教室を開いて、乗っていただくことで、普及を進めるといふもので進めてきた取り組みでございませぬが、昨年度は錦城小学校から補助がありまして、こちらで進めるといふことで予定を組ませていただいております。

ただ残念ながらその予定をしていたころにコロナが増えてきてしまったということがございまして、1回延期した後、中止をするという、残念な結果になりました。昨年度は実績なしという形で支出も0になっております。今年度はまた改めて学校を募集し進めてまいりたいと考えております。

また、公共交通利用促進パンフレットにつきましては、お手元にあります、この紫色のご利用ガイドです。こちらは全戸配布を4月の広報と一緒にさせていただいたものでございます。お手元にお配りしておりますので、改めてご覧ください。ホームページにも載っております。こちらが事業費135万8631円で行いました。

地域公共交通計画につきましては、令和4年3月28日、前回の公共交通会議にて承認を受けまして、国に提出をさせていただきました。これの策定ですね、案の作成に係る経費として、273万9000円計上しております。

のりあいタクシーの事務販売系取扱事務に関してですが、こちらは、市役所の各出張所が郵便局に業務委託をされることに伴いまして、販売チケット送金手数料が発生するということがございました。車内でも購入できますので、出張所の取り扱いは順次終了をさせていただいており、事業費としては0円になっております。

事業計が409万9511円で行いました。

次のページ、5ページがその歳入と歳出になりますけれども、歳入につきましては加賀市の負担金および、地域公共交通の計画を策定するものにつきましては、国からの補助金をいただいておりますし、その他、パンフレットの作成費につきましては、石川県からの補助金も頂戴しております。

合わせまして歳入が409万9520円ということでございました。歳出につきましては今ほど申し上げた費用を合算しまして409万9511円で9円の預金利子がありましたので、そちらをそのまま差し引いてそのまま繰り越しという形になっております。

次のページ6ページですけれども、監査が加賀市の会計管理者が監査になっておりますので監査書をつけてございます。

続きまして7ページをご覧ください。今年の公共交通活性化再生協議会の事業計画および歳入歳出予算につきまして報告いたします。バス教室の実施予算として、8万2000円、それから公共交通パンフレットの作成で134万で、公共交通利用促進事業、今回の議事後で報告いたしますMaaSアプリが近々リリースを予定しております。

その中で、「北鉄加賀バス」「キャンバス」「のりあい号」で共通のチケットを販売する予定をしております。こちらの共通チケットの決済手数料それから決済システムに必要な費用として、おおよそ全部で200万ぐらいの支出が見込まれております。

普及促進の観点から、そのうちお客様の手数料の半分程度を協議会の方で負担をさせていただければと考えており、100万を計上しております。

残りの分につきましては、各社さんで負担していただくものとなります。

続きまして、大聖寺駅タクシー乗り場看板の整備ということで5万円計上しております。

こちらは、大聖寺駅のタクシー乗り場の看板が昔、「タクシー乗り場」という看板があったんですけども劣化して、破損している状況です。運転手からのお声もございまして、何かできないかという相談があったこと、大聖寺の玄関口で利用者にとって重要な拠点でありますので、予算計上させていただいております。

タクシー事業者さんとお話をしながら、費用按分をして、こちらの予算を使いながら直していくというようなことを考えております。

事業費合わせて247万2000円でございます。続きまして、8ページをご覧ください。

今の内訳として、加賀市の負担金が143万1000円。それから、補助金としまして、石川県の補助金として104万円。

その他、収入調整で1000円合わせまして247万2000円となります。

歳出の方も同額でございます。議事1、2の説明については以上でございます。会長よろしく願います。

**会長**

はい。近年の利用状況について変化はありますか。

**事務局**

はい、ご説明させていただきます。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響、自粛が一部緩和されたり、移動の自粛が強く求められるようなことが繰り返され、観光客の利用はまだ戻って来てないという認識でございます。

こちらに関しましては、委員さんの方からいただけたらありがたいかなと思います。

**会長**

はい。近年の利用状況について変化はありますか。

**委員**

5路線トータルで比較しますとコロナ前の約65%の状況にあって、ただ、その中で、各路線によっては若干戻っているのかといったところ。

**会長**

はい。路線で競合していることはないのでしょうか。

**事務局**

乗り合いタクシーの方がバスよりも金額は高いですし、タクシーに乗車されないと行けない方は

タクシーに乗車されるという中で、すみ分けは綺麗にされていると考えます。  
今までの現状で、目の前にバス停があればやっぱりバスに乗られる方が、利用者の心情としてはそうなります。ただバス間隔が空いてしまっていたりとかする場合は、のりあい号を使われることもあるかもしれない。そのすみ分けといいますか共存を目指して、進めていきたいと思っております。

**会長**

はい。ありがとうございます。他はありますか？

**委員**

キャンバスの利用状況ですが、コロナ前の実績年間で9万4628名。去年、令和2年は、1万5697名、令和3年度の1万763名、もう100%観光客いない状況で、動いておりました。

例えば平成30年度ですと、11万4863名という数字で、新型コロナの影響を受けまして壊滅的な数字となっております。

ただ今、資料に添付されている、キャンバス片山津橋立循環線は、地域の方、特に高校生、学校の主要の路線です。学校の生徒に乗ってということで、最初は10人ほどしか乗ってなかったのに、今、おかげさまで30人余り乗車数があります。残念ながら、橋立動橋線、これが、非常に低迷していますので普及に努めてまいりたい。

**会長**

はい、ありがとうございます。のりあいの方はどうでしょう。

**委員**

のりあいに乗られている方は生活に利用されているので、生活が戻ってきているっていう感覚の利用水準ではあるかと思っています。

**会長**

はい、ありがとうございました。ご意見ございましたら、せっかくオンラインで入っていただいておりますので、オンラインの委員の方、何かございませんか、感想でも結構です。

**委員**

昨年度の事業実績が今年の事業計画にもありましたが、加賀市様にいろいろとまず始め、公共交通の利用促進による取り組みをされているということで、一番、県の方のそういった補助金を活用いただいているところですけれども、県としてもそういう形で少しご支援させていただければと思っております。

**会長**

ありがとうございます。よろしく申し上げます。そして、オンラインの他の委員の方お願いします。

**委員**

今、市の要するバスの利用の様子とかはよく分かりました。バスの教室の学校の利用ですけども、これ、前回、錦城小学校のコロナの関係で、中止になったということですけども、これは毎年一つとかそういうふうに数を決めて、やっているのか。

**事務局**

回答させていただきます。バス路線のある小学校を中心という条件のもと、教育委員会から、募集のメールをさせていただいて、応募のあった小学校の中で選定をさせていただいております。

**委員**

これが大変面白いなと思ったので、ちょっとお聞きしてみました。ありがとうございました。

**会長**

はい、ありがとうございます。それではその他、ご意見がないようですので、これで承認ということよろしいでしょうか。

それではつづいて議事3に移ります。

**事務局**

はい、議事3につきまして9ページになります。

かねてから、キャンバスの路線の変更については、公共交通会議ないしは公共交通活性化再生協議会の中で、こういった検討がありますということは申し上げてきたところでございます。

その上で、今回はキャンバスから、三つの路線、今ある「山まわり」「海まわり」線という観光路線をやめて、あと「空港」線についても変更をするということで、案が出てきたところでございます。

こちらにつきましては、あらかじめ皆様にご理解をいただきたいところとして、この後に出てきます、議事4にありますが、国にフィーダー系統の認定の申請をしないといけない期日が6月末と今日付ということになっております。本年度の10月から来年度の9月までの1年間について、路線の予定を載せないといけない。

議事3では、早ければ10月から運行を改定したいというキャンバスからの意向もございまして、路線案を掲載させていただいております。

しかしながら、こちら（議事3）に関しましては運輸局さんの許可を最終的に受ける前提として、地域公共交通会議でのしっかりとした承認があってなされるべきものでございます。

ダイヤとか、運賃に関してのしっかり議論されて決められたものですので、今回で決まるものだと考えておりません。

今回はその前提で、今こういう案が出てきていることから皆様のご意見をいただくものです。

「キャンバス再構築について」というページをご覧ください。右の路線、右の地図に落とした路線が今のキャンバス「海まわり線」「山まわり線」です。「山まわり線」が赤い路線、「海まわり線」

が青、紺色の路線でございます。観光周遊の路線として観光客が多い時期においては、かなり収益もある路線です。

一方で、地域住民が利用しやすいかどうかということを考えると、あまりそういった側面はないものでございました。

コロナが始まってからですね、現在は4台中2台で今、運行している状況ですが、それでも観光路線でやっていくってことはかなり厳しい状況になってきていると聞いております。

そんな中で、路線を改定して生活にも使えて、観光の方も利用しやすいというような路線に変更していければいいのかなと言うようなことを昨年度からずっとお話をさせていただいたところがございます。それを踏まえて、今回、路線として出された案は次のページ以降でございます。

#### 委員

順番にお話ししていきます。周遊では1周に時間がかかりすぎ、逆向きへの移動もできないという問題がありました。その中でコロナの影響もあって壊滅的な影響を受け、観光だけでは路線を維持することができない。何とかご利用いただくための方法を考える中で、回っていたのをやめて加賀温泉駅をハブとして路線をつなげることで利用者の利便性を高めようと考えたものです。加賀温泉駅は「キャンバス」だけじゃなしに、「北鉄加賀バス」とも連携が取れるという要の部分です。

一方、路線が競合するということがございます。皆さんにご審議していただきたい。その前に、その時刻表がこれはあくまでも「キャンバス」は、

加賀越前線というのは「山まわりと海まわり」というので一直線につながる、ご利用の方の想定を具体的に申し上げますと、越前吉崎の方が加賀温泉のショッピングセンターにお越しになる。実は芦原の方に出るバスがないので、吉崎から「キャンバス」「北鉄加賀バス」で移動できることはとても望ましいと。

次のページ、12ページを加賀橋立線、これは「海まわり線」の内、観光施設及び地域停留所を軸に検討した路線でございます。

次、「温泉空港線」これは全く新しい発想になるわけです。小松空港や加賀温泉駅から片山津や山代・山中までつなぐ路線です。

あと2年後に北陸新幹線、加賀温泉駅開業を控え二次交通を進化させる必要があると考えます。路線が追加されることで「キャンバス」と「北鉄加賀バス」のどっちに乗ってもいい、全体として路線が増えるので地域住民の利便性が向上することが期待できる。以前に出された公共交通会議の住民のアンケートの中で路線バスの便数が少ないし高いというアンケートもあった。

今後も順次、便数が増え、地域住民がそれぞれの生活スタイルに合わせ、公共交通の利用が増えるようにできるのではないかと思います。

#### 会長

ありがとうございました。どうでしょうか。

**委員**

今週月曜日概略を伺い、正直申しまして、わたしどもにすると現在、この中において従来利用者が不在中で、さらに経営的に厳しい状況が続くと思われま。そんな中で今回のこの計画については、特に、JR 加賀温泉駅から山代温泉を経由して山中温泉に行く温泉山中線と競合になる路線については危惧しております。その系統について、ご説明とは少しは違うと思っております。便数が少ないのだからそのような説明がありましたけど、ただ、競合により収益が減る可能性があれば、撤退を余儀なくされる可能性も出てくる。それほどに影響の大きい路線と競合することになります。私は今の時点では同意はできない。

**会長**

他の方どうでしょうか。

**委員**

今地域の路線の維持はかなり厳しい状況です。そして、競合の路線（温泉山中線）は、地域間幹線として運輸局としても重要な路線として維持に努めています。仮に競合になって、乗合率が下がるというようなことがあれば、そちらも補助の対象外となるようなことも考えられる。十分にお話をされて決めていかれるものと思います。

**会長**

はい、ありがとうございます。

**事務局**

事務局から補足のために申し上げますと、この会議の目的ですが、地域の需要に応じた住民の生活に必要な旅客運送の確保のもと旅客の利便の増進を図るために必要となる事項について協議するものという目的ですので、あくまでも地域の住民が利用しやすいということが大前提にございますので、そのためにみんなで協力して、今ある路線をしっかりと守っていきましょうねという趣旨でございます。

先ほどもお話がありました通り、既存路線をしっかりと大事にしながら、その中で協働等をすすめる、利用者の利便の増進を図っていくということが目的になるのかなというふうに思っております。

**委員**

はい地域間幹線系統の補助につきましては、国庫補助制度がありまして、それに協調する形で県は同額補助させていただいてまして、「北鉄加賀バス」の温泉山中線もこれまで対象となっているところなんです。

ただその幹線というところで国の要件がいろいろあって、1日何件、あと利用者が1日何人以上いるってところがございますのでちょっとその競合することによって、温泉山中線の利用状況にどういった影響があるのかということ審査しています。

**会長**

フィーダーの整理をお願いします。

**事務局**

はい、事務局から説明します。フィーダー系統というのは幹線、加賀市で言いますと、温泉山中線および鉄道線に接続をしている地域路線であって、地域公共交通会議の場で、これをフィーダー系統として国に申請する。地域の住民の足として重要な路線だというふうに認められたものが、国の補助対象というものになっております。

この10月から翌年の9月の期間についての申請を6月末に申請書を出さないといけないということが規定になっておりまして、毎年この時期の公共交通会議で、今年の計画はこんな計画ですよということをお諮りして、提出するという形式をとっております。

フィーダー系統の計画案が、次の議事になります。今回のキャンパスの運行変更につきましては、地域の住民にもしっかりとつかっていただける路線として変更していきたいので、フィーダー計画に載せるということで案として提示しております。

**委員**

計画として出さないといけないことは理解するが、まだ決まっていないことがなぜ計画に載るのか。もう少し慎重に話し合いをすべきものではないのか、と考えます。

**会長**

計画について説明してください。

**事務局**

ありがとうございます、14ページをご覧ください。

加賀市フィーダー系統を(1)計画ということで、毎年6月にこの計画を国の方に提出をさせていただきまして、それに基づいて、地域に必要な地域の住民の足として必要な路線であるということと認められたものに対して、国からの助成が受けられるというような制度でございます。

昨年公共交通計画というのを加賀市で作りました。フィーダー計画は、いずれその地域公共交通計画と統合されていくというような、国の指針意向が出ております。

ですので、今は暫定的に今年もまだこの改善計画というものを1年単位のものを出すのですが、将来的にはもう昨年作った地域公共交通計画で、全部管理していくというような流れになる見込みでございます。

見ていただきたいのが16ページ。事業の目標として、地域公共交通確保維持事業の定量的な目標効果ということで1便当たりの乗車人数を掲載させていただいております。こちらは事前に各場所がバス会社にお電話させていただいて、お聞きした人数を掲載させていただいております。のりあいタクシーについては加賀市が運行しておりますので一応目標数値は加賀市の方で書かせていただいております。

(2)の事業の効果のところ、先ほどのキャンパス3路線についての記載もさせていただいてお

ります。ですので、今こちらもお手元にある資料としてはキャンバスが路線を変更、今の表示の通りですね、表示の通りに運行を変更した前提で書かせていただいております。

いま、議論がたくさん出ておりました温泉空港線というキャンバスの路線について、競合の加賀温泉駅から山中までの区間については、この記載はちょっとあまり芳しくない。可能性もあるかなというふうに認識しております。

皆さんの合意があって出すものですので、その温泉山中の区間、温泉駅から山中までのキャンバスの区間について、このまま一旦乗せ最終確定ではないこのまま載せていいのか削った方がいいのかというところはちょっとここでご議論していただけるとありがたいと存じます。

#### 事務局

具体的には距離程などを記載する必要がありますので、それを小松空港から山中温泉までの区間の距離計で書くのか、小松空港から加賀温泉まで距離で書くのか、そのまま載せてよいのか、載せるのは適切でないという判断なのかっていうところはちょっとお示しいただけると助かります。このような観点で議論をお願いいたします。

#### 委員

一定のコンセンサスを得たとき、初めて活字にするべきであって、今の極めて不透明な状態で、そこまで私は書くのはどうなのかなと思います。

#### 事務局

ではフィーダー区間について、原案から一部区間、加賀温泉駅から山中温泉の区間を除いて申請するというのでしょうか。

#### 会長

そのような形で承認していいでしょうか。

#### 会長

ありがとうございます。では続いて議事5に移ります。事務局お願いします。

#### 事務局

実証実験を受けて、令和3年度、市の方でMaaSアプリの構築を進めてきました。今回皆様にお示しし、運輸局への届出を行い、サービス開始の告知をして、開始としたいと思います。

ちょっと見にくいですが、前の画面を参照いただきまして、ご覧いただければと思います。MaaSアプリにつきましては、割引機能として、割引乗車券1日フリーパスを購入することができます。ダイヤの理解を検索することができます。のりあい号のインターネット予約もこのアプリからできるようになりました。それからお店施設の営業時間や場所を検索することができます。またお店や施設の割引クーポン、これはお店によって出してくださいという前提ですが、使うことができます。

アプリは携帯にダウンロードして使うアプリケーションではなくって、クラウド上使うインターネットで使うアプリケーションとなっておりますので、ネットワーク環境が繋がっているスマー

トフォンをお持ちの方なら誰でも使っていただけます。

最初に始めるを押します。画面が変わります。もしよろしければ、3、19 ページにこのアプリも QR コードがありますので、ちょっと今、全部やるのは難しいと思いますが、おうちに帰ったらぜひともやっていただくとありがたいと思います。

注意点としては、リリースまでチケット等は買えますが、買うと課金されますので、お金がかかりますので、お金がかかった上にまだ準備できてないので使えませんといったことになります。他の方関係者以外には広めないでください。

チケットの購入というボタンを押しますと、こういった形で販売されるチケットが出ていく種類は、キャンパスのフリーパス、こちらがこんな形で 900 円。乗り放題になります。キャンパスの一日券は先ほど説明があった 1100 円ですのでそこより安く乗っていただくことができます。

「北鉄加賀バス」は条件があります。一部エリアに限定されますので、注意は必要ですが、加賀温泉駅から片山津地区それから大聖寺地区、それから山代地区までの区間、加賀温泉駅からですね、そのエリアは乗り放題になります。600 円です。なんでちょっと山中まで行くとか、塩屋まで行くとかは無理ですけど、区間内であればこれで乗り放題なので、非常にお得だと思います。のりあい号のフリーパスが 800 円で、往復を考えるとこっちが安いという形になっております。また、これらすべての区間乗り放題で、1000 円というのを別に用意してございます。こちらのチケットでは「北鉄加賀バス」全線でご乗車いただけますので、山中にも行くことができるものになります。

クレジットカードを登録したり、デビットカードを用意したりするのがちょっと高齢者の方とかそういったものに慣れて知らない方にはちょっとハードルが高くなってしまう部分もあるかもしれませんが、市としてはそういったものも含めて、ご支援を進めていきたいと思っています。

具体的にはスマホ教室であるとか、各地区を 3 回ご説明に回ろうと思っています。8 月の中旬から 12 月までの期間ですね、順次回ってご説明に上がりたいというふうに考えております。区長会を通してご案内をしておりますのでそちらは改めて、決まりましたらご案内させていただきます。

各バス会社にでもですね、ぜひとも、周知等をご協力いただきたいと思います。

こちらの真ん中の配車というところを押すと、乗り合いの予約およびタクシーの配車がすることができます。

あともう一つ見ていただきたいのがこちらですね、店舗情報から検索することができます。こちら、上にですね、グルメ飲食やショッピング、病院、ホテル、市公共機関というようになっております。

今既に各店舗にすねが、情報を入れてくださいということをお願いをさせていただいております。まだ 10 件ほどしか出てきてないのですけれど、その情報を、ここにどんどん載せていく作業をしております。

ここが分からないよってというような利用者の方がいらっしゃったらスマホ教室等を活用していた  
できればというふうに考えております。

**会長**

ありがとうございました。時間も来ておりますのでこれで最後にしようと思えます。

**事務局**

すみません、最後に2点ほど報告をさせて下さい。

(1 : 附属機関条例により交通会議要綱の変更)

(2 : 交通計画の策定について)

**会長**

ありがとうございます。では事務局に戻します。

皆様お疲れ様でした。

2. 閉会